

シンポジウム

予防接種は 秋月藩から始まった

おがたしゅんさく
緒方春朔と
あまのじんざえもん
天野甚左衛門に学ぶ



イラスト：渡邊潤子

日時 平成25年 **11月16日(土)**

会場 13:00
開演 13:30~

場所 **ピーポート甘木 中ホール**

入場無料

切り取り線

シンポジウム

予防接種は秋月藩から始まった

緒方春朔と天野甚左衛門に学ぶ

日時 平成25年11月16日(土)

開場 13:00 開演 13:30~

場所 **ピーポート甘木 中ホール**



入場整理券

おがたしほんさく あまの じんざえもん
緒方春朔と天野甚左衛門に学ぶ

緒方春朔 (1748～1810)



久留米藩士小田村甚吾（初名：瓦林清右衛門）の二男。
久留米藩の医者緒方玄斎の養子となり、長崎で医学を学び、天明
3年(1783)2月、上秋月に転居。医学の他、天文学・軍学等にも
精通し、種痘の研究を進める。

寛政元年(1789)5月、秋月藩主黒田長舒に召抱えられる。翌2
年(1790)2月、人痘法による種痘を実施。これが記録に残る日本
初の成功例である。以後、全国各地から門下生を受け入れ、種痘の
普及に努めた。

著書に『種痘必順辨』『種痘緊轄』『種痘證治録』がある。

天野甚左衛門 (?～1827)



天野家 8代目当主。天野家は代々、上秋月組大庄屋を勤める。
当時、飢饉や伝染病等で多くの子供たちの命が失われていたため、
甚左衛門は種痘の研究を進める緒方春朔を援助。

寛政2年(1790)、しぶる春朔を説きふせ、我が子二人を種痘の
実験台に提供した。この種痘の成功により、秋月藩医の子弟も次々
と種痘を行い、その後の種痘普及につながった。

彼のまさに献身的支援が、多くの命を救ったのである。

基調講演 『種痘から予防ワクチンの道』
講師：酒井シツ 氏（順天堂大学名誉教授、日本医史学会前理事長）

シンポジスト 大場恭児 氏（上秋月コミュニティ協議会）
坂井圭子 氏（朝倉医師会あさくら会会長）
富田和英 氏（朝倉医師会会員、春翔会会員）
隈部敬明 氏（日本医史学会会員、朝倉市教育委員会）
コーディネーター 松木祥憲 氏（天野甚左衛門顕彰会事務局長）

主催 天野甚左衛門顕彰会、甘木朝倉法人会秋月支部、秋月郷土館友の会
後援 朝倉医師会、朝倉市教育委員会、上秋月コミュニティ協議会、安川コミュニティ協議会、秋月コミュニティ連携協議会、
春翔会、甘木ロータリー・クラブ、朝倉ライオンズクラブ、国際シロフチニスト甘木、朝倉青年会議所、西日本新聞社

切り取り線

基調講演 『種痘から予防ワクチンの道』
講師：酒井シツ 氏（順天堂大学名誉教授、日本医史学会前理事長）

シンポジスト 大場恭児 氏（上秋月コミュニティ協議会）
坂井圭子 氏（朝倉医師会あさくら会会長）
富田和英 氏（朝倉医師会会員、春翔会会員）
隈部敬明 氏（日本医史学会会員、朝倉市教育委員会）
コーディネーター 松木祥憲 氏（天野甚左衛門顕彰会事務局長）

お問い合わせ：天野甚左衛門顕彰会 朝倉市秋月676 TEL：090-4587-8473

